



Cloud Volumes ONTAP データの Google Cloud Storage へのバックアップ Cloud Manager

Tom Onacki, Ben Cammett
July 13, 2021

目次

Cloud Volumes ONTAP データの Google Cloud Storage へのバックアップ	1
クイックスタート	1
要件	2
新しいシステムでの Cloud Backup の有効化	3
既存のシステムでの Cloud Backup の有効化	5

Cloud Volumes ONTAP データの Google Cloud Storage へのバックアップ

Cloud Volumes ONTAP から Google Cloud Storage へのデータのバックアップを開始するには、いくつかの手順を実行します。

クイックスタート

これらの手順を実行してすぐに作業を開始するか、残りのセクションまでスクロールして詳細を確認してください。

構成がサポートされていることを確認します

- GCP で Cloud Volumes ONTAP 9.7P5 以降を実行しています。
- バックアップを保存するストレージスペースの有効な GCP サブスクリプションがあります。
- Google Cloud Project に、事前定義された Storage Admin ロールを持つサービスアカウントがあります。
- に登録しておきます ["Cloud Manager Marketplace のバックアップソリューション"](#)またはを購入したことが必要です ["アクティブ化されます"](#) NetApp の Cloud Backup BYOL ライセンス。

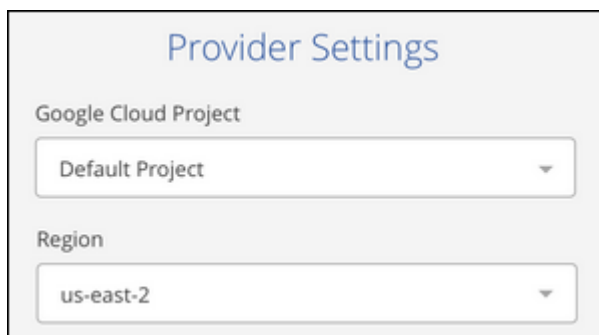
新規または既存のシステムで **Cloud Backup** を有効にします

- 新しいシステム：Cloud Backup は、新しい作業環境ウィザードを完了すると有効にできます。
- 既存のシステム：作業環境を選択し、右パネルのバックアップと復元サービスの横にある * 有効化 * をクリックして、セットアップウィザードに従います。



プロバイダの詳細を入力します

バックアップ用に Google Cloud Storage バケットを作成する Google Cloud Project を選択します。

A screenshot of a 'Provider Settings' form. It has a title 'Provider Settings' in blue. Below it, there are two sections: 'Google Cloud Project' with a dropdown menu showing 'Default Project', and 'Region' with a dropdown menu showing 'us-east-2'. Both dropdowns have a small downward arrow on the right side.

バックアップポリシーを定義

デフォルトポリシーでは、毎日ボリュームがバックアップされ、各ボリュームの最新の 30 個のバックアップコピーが保持されます。日単位、週単位、または月単位のバックアップに変更するか、システム定義のポリシーの中からオプションを追加するものを 1 つ選択します。

Define Policy

Policy - Retention & Schedule

☒ Create a New Policy ☐ Select an Existing Policy

☒ Daily

Number of backups to retain

30

☐ Weekly

Number of backups to retain

52

☐ Monthly

Number of backups to retain

12

DP Volumes

Data protection volume backups use the same retention period as defined in the source SnapMirror relationship by default. Use the API if you want to change this value

Google Cloud Storage Bucket

Cloud Manager will create the Google Cloud Storage Bucket after you complete the wizard

バックアップするボリュームを選択します

Select Volumes（ボリュームの選択）ページで、バックアップするボリュームを特定します。

必要に応じて、データをリストアします

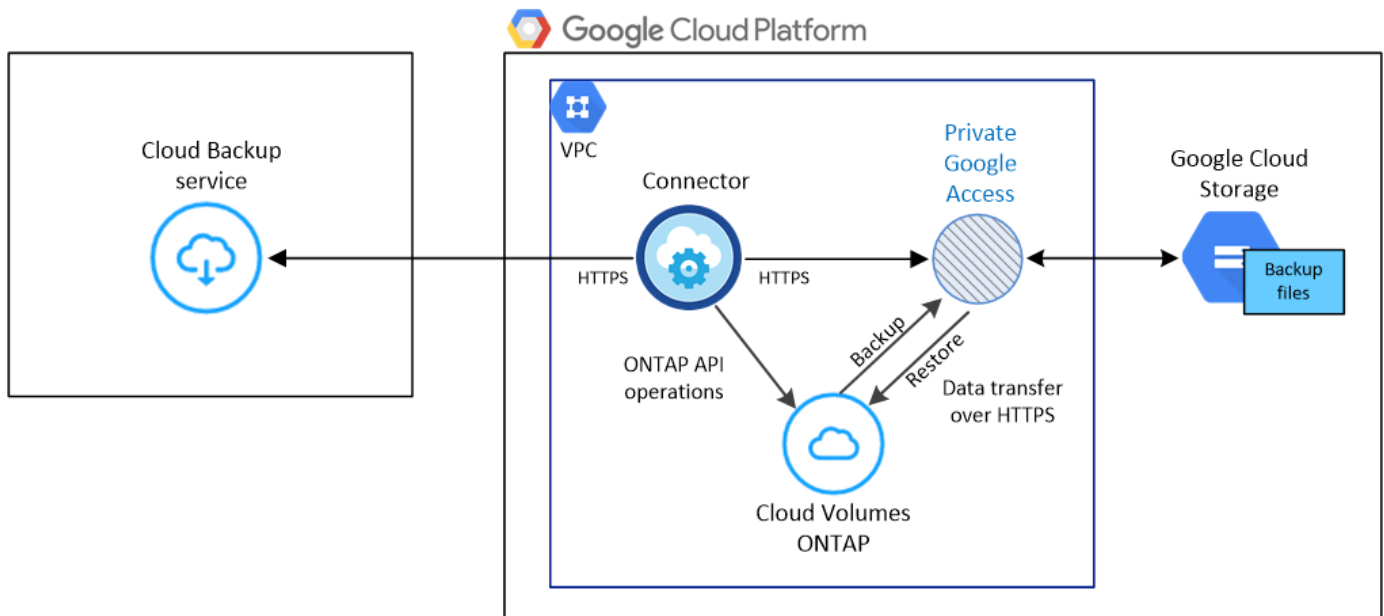
新しいボリュームにバックアップをリストアします。Google で Cloud Volumes ONTAP システムにデータをリストアできます。サービスアカウントは、リストアを実行する Cloud Volumes ONTAP システムに必要です。

を参照してください ["バックアップファイルからのボリュームデータのリストア"](#) を参照してください。

要件

Google Cloud ストレージへのボリュームのバックアップを開始する前に、次の要件を参照して、サポートされる構成になっていることを確認してください。

次の図は、各コンポーネントとその間の準備に必要な接続を示しています。



サポートされている **ONTAP** のバージョン

Cloud Volumes ONTAP 9.7P5 以降

サポートされる **GCP** リージョン

Cloud Backup はすべての GCP リージョンでサポートされます "[Cloud Volumes ONTAP がサポートされている場合](#)".

ライセンス要件

Cloud Backup BYOL ライセンスを使用するには、ライセンスの期間と容量にサービスを使用できるように、ネットアップから提供されたシリアル番号が必要です。を参照してください "[バックアップ BYOL ライセンスの管理](#)".

また、バックアップを保存するストレージスペースの Google サブスクリプションが必要です。

GCP サービスアカウント

事前定義された Storage Admin ロールを持つサービスアカウントが Google Cloud Project に必要です。 "[サービスアカウントの作成方法について説明します](#)".

新しいシステムでの **Cloud Backup** の有効化

Cloud Backup は、作業環境ウィザードで Cloud Volumes ONTAP システムを新規に作成したときに有効にすることができます。

サービスアカウントがすでに設定されている必要があります。Cloud Volumes ONTAP システムの作成時にサービスアカウントを選択しなかった場合は、システムをオフにして、 GCP コンソールから Cloud Volumes ONTAP にサービスアカウントを追加する必要があります。

を参照してください "[GCP での Cloud Volumes ONTAP の起動](#)" を Cloud Volumes ONTAP 参照してください。

手順

1. [作業環境] ページで、 [* 作業環境の追加 *] をクリックし、画面の指示に従います。

2. * 場所を選択 * : 「 * Google Cloud Platform * 」を選択します。
3. * タイプを選択 * : 「 * Cloud Volumes ONTAP * 」(シングルノードまたはハイアベイラビリティ)を選択します。
4. * 詳細と認証情報 * : 次の情報を入力します。
 - a. 使用するプロジェクトがデフォルトのプロジェクト (Cloud Manager が配置されているプロジェクト) と異なる場合は、 * Edit Project * をクリックして新しいプロジェクトを選択します。
 - b. クラスタ名を指定します。
 - c. サービスアカウント * スイッチを有効にし、事前定義されたストレージ管理者ロールを持つサービスアカウントを選択します。これは、バックアップと階層化を有効にするために必要です。
 - d. クレデンシャルを指定します。

GCP Marketplace のサブスクリプションが登録されていることを確認します。

Details & Credentilas

Project1
Google Cloud Project

MPAWSSubscription1222
Marketplace Subscription

Edit Project

Details

Working Environment Name (Cluster Name)

Service Account ⓘ ☒

Service Account Name

Add Labels Optional Field | Up to four labels

Credentials

User Name

Password

Confirm Password

5. * サービス : **Cloud Backup Service** は有効のままにして、【 続行 】をクリックします。

Services

Backup to Cloud

☒

▼

6. ウィザードの各ページを設定し、システムを導入します を参照してください "[GCP での Cloud Volumes ONTAP の起動](#)".

Cloud Backup はシステム上で有効になり、毎日作成したボリュームをバックアップし、最新の 30 個のバッ

クアッパコピーを保持します。

可能です "ボリュームのバックアップを開始および停止したり、バックアップを変更したりできます スケジュール" また、次のことも可能です。

既存のシステムでの **Cloud Backup** の有効化

Cloud Backup は、作業環境からいつでも直接有効にすることができます。

手順

1. 作業環境を選択し、右パネルの [バックアップと復元] サービスの横にある [*Enable] をクリックします。



2. Google Cloud Storage バケットをバックアップ用に作成する Google Cloud Project とリージョンを選択し、* Next * をクリックします。

プロジェクトには、事前定義された Storage Admin ロールを持つサービスアカウントが必要です。

3. [Define Policy] ページで、バックアップスケジュールと保持の値を選択し、[* Next] をクリックします。

を参照してください ["既存のポリシーのリスト"](#)。

4. バックアップするボリュームを選択し、* バックアップのアクティブ化 * をクリックします。

Select Volumes						
57 Volumes						
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume Name	Volume Type	SVM Name	Used Capacity	Allocated Capacity	Backup Status
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_1	RW	SVM_Name_1	0.25 TB	10 TB	⊖ Not Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_2	RW	SVM_Name_2	0.25 TB	10 TB	⊖ Not Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_3	RW	SVM_Name_3	0.25 TB	10 TB	⊖ Not Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_4	DP	SVM_Name_4	0.25 TB	10 TB	⊖ Not Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_5	RW	SVM_Name_5	0.25 TB	10 TB	⊖ Not Active

- すべてのボリュームをバックアップするには、タイトル行 (☒ Volume Name)。
- 個々のボリュームをバックアップするには、各ボリュームのボックス (☒ Volume_1)。

Cloud Backup が起動し、選択した各ボリュームの初期バックアップの作成が開始されます。 Backup Dashboard が表示され、バックアップの状態を監視できます。

可能です ["ボリュームのバックアップを開始および停止したり、バックアップを変更したりできます スケジュール"](#) また、次のことも可能です。

Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.